



公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構

Organization for Promotion Academic City by Kyushu University



九州大学学術研究都市

知の交流・創造活動を促進する地域科学技術システムの構築

新しい産業イノベーションを創出する環境や水素・ナノテクノロジー・半導体など最先端の研究クラスターが形成されています。

知・住・悠の舞台となる快適空間の形成

伊都キャンパス移転を契機とする新たなまちづくりが進められています。



九州大学伊都キャンパス



中央図書館



福岡市産学連携交流センター



有機光エレクトロニクス実用化開発センター



社会システム実証センター

三次元半導体研究センター



水素エネルギー製品研究試験センター



糸島リサーチパーク

前原IC地区 北産業団地

前原インターチェンジ 南産業団地



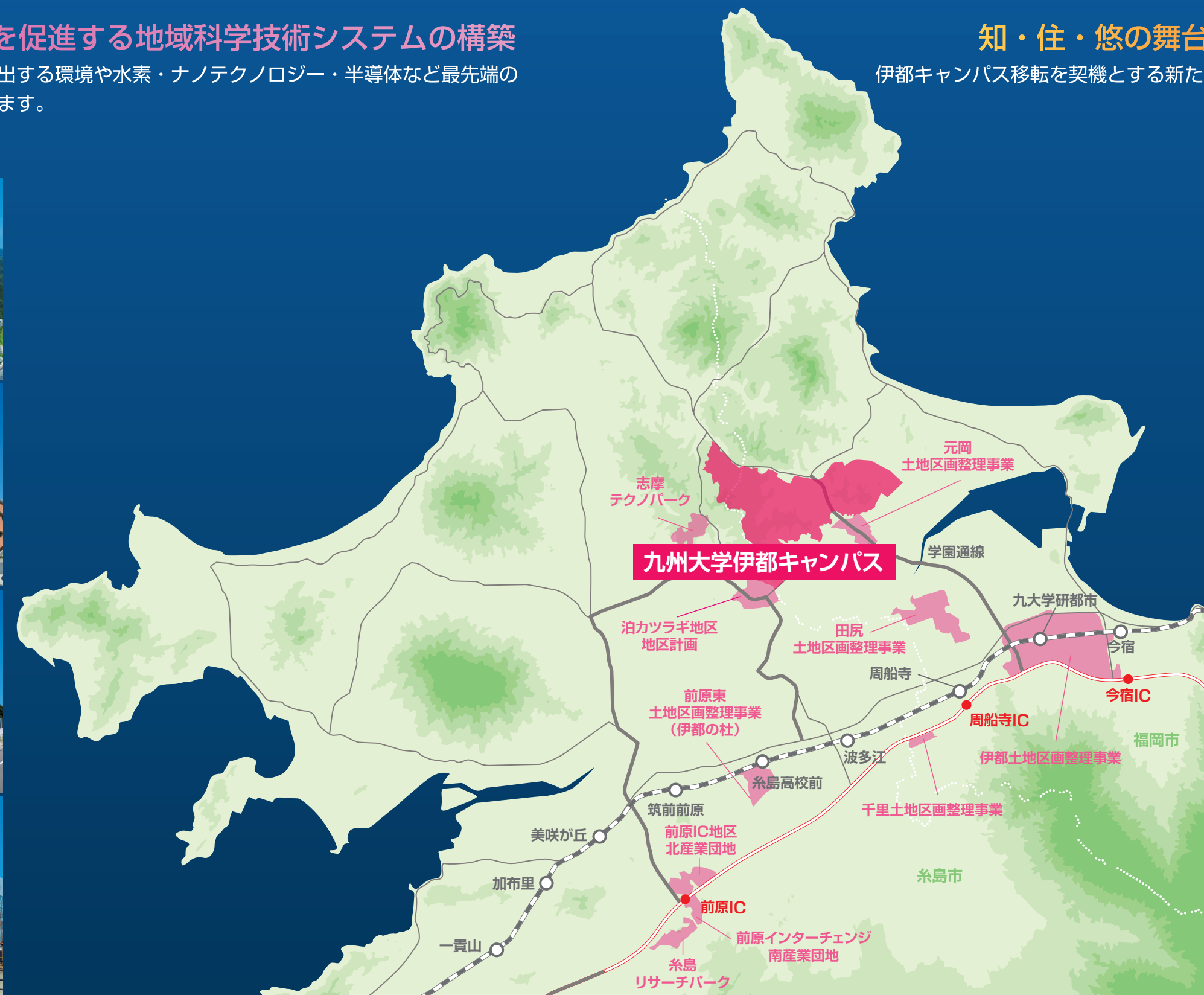
糸島高校前駅



九大学研都市駅



さいとびあ



元岡土地区画整理事業



伊都土地区画整理事業



泊カツラギ地区地区計画



学園通線

九州大学 学術研究都市 構想

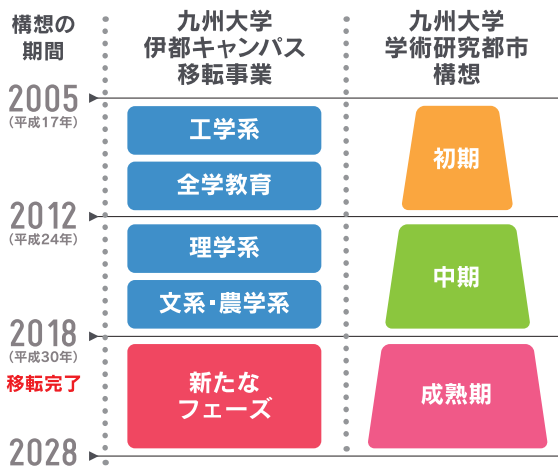
事業 方針

九州大学の伊都キャンパスへの統合移転に伴う大規模なキャンパス構築や大胆な大学改革を支援するとともに、九州大学を中心とした新しい学術研究都市の創造をめざし、地元産学官の総意に基づき『九州大学学術研究都市推進協議会』が1998年に設立されました。

推進協議会は2001年に『九州大学学術研究都市構想』を策定。産学官が連携し、世界的な「知の拠点」「知的クラスター」づくりに向けて「知の創造・交流を促進する地域科学技術システムの構築」「知・住・悠の舞台となる快適空間の形成」に取り組んでいます。

九州大学学術研究都市の 新たなフェーズにおける事業方針

2018年9月の九州大学伊都キャンパスの統合移転完了を契機に、推進協議会では、整備が進んだ学研都市のハード・ソフトのさらなる活用や今後の社会経済の発展を視野に入れ、学研都市の新たなフェーズにおける10年後のめざす姿を示すとともに、その実現に向けた取組の方向等を示す『事業方針』を2019年1月に策定。



新たなフェーズにおける めざす姿

持続的に
イノベーションが創出される
活力ある学術研究都市

先進技術がもたらす
次世代の豊かな暮らしがある
学術研究都市

自然、歴史、文化を享受し、
多様な人々が交流する
学術研究都市

10 年後の目標

ベンチャー起業
100件

最先端事業
100件

域外交流
500件/年

知の交流・創造活動によるイノベーション・エコシステムの構築

1 先端科学技術の研究等支援事業

■九大先端科学技術分野(水素・半導体・ナノテク・ICTなど)における産業創出・集積を図るセミナー・出展活動、重点事項をテーマとしたワークショップ、先端電子顕微鏡フォーラムを開催

2 農林水産業コンソーシアム創設事業

■地場産業であり成長が期待される農学分野における企業や研究機関、生産者が交流するプラットフォームを形成し共同研究や実証実験、事業化に向けたコンソーシアムの創設を支援

3 ライフサイエンス研究開発強化事業

■超高齢社会の中で企業の産業進出期待が大きく、九州大学が意欲的に取り組んでいるライフサイエンス分野において、産学官連携を進め、産業集積を目指した共同研究や実証実験を誘致



OPACK

九州大学学術研究都市推進機構の活動

4 九大学研都市発スタートアップ促進事業

■九大シーズと経営人財、投資家等とのマッチングや新たな資金調達の検討及びインキュベート施設の拡充などを促進

5 学術研究都市を実証フィールドとする研究プロジェクトの導入

■地元企業のニーズ調査、実証試験・社会実験の誘致、実証導入・実装等のための社会基盤(通信・交通・産業集積・環境等)に関する情報収集・課題分析及び課題解決に向けた連携体制づくりを推進

先端電子顕微鏡フォーラム 九州大学の超高圧電子顕微鏡の民間利用を受付けています。

1 情報サービス

電子顕微鏡関連ニュース、技術・製品紹介、研究報告

2 コンサルティング

電子顕微鏡関連技術相談、研究者・技術者の紹介

3 教育・研究支援

電子顕微鏡関連研修、e-ラーニング・遠隔研修用教材、シミュレーター、解析ソフトほか

4 研究・技術支援

電子顕微鏡・各種機器利用開放・指導



快適で質の高いライフスタイルを実現する環境整備

1 地域価値創造プラットフォームの構築

■市民講座によるまちづくりの機運の醸成、九大等と連携したワークショップ・まちづくり活動などの実施を通じた地域の連携づくりと自主的自律的なまちづくり連携基盤の構築

2 学研都市づくりに対する関心向上イベントの開催

■九大、地域、経済界等の交流の場創出による学研都市づくりへ関心の向上と交流環境の整備

3 低未利用空間の有効活用による都市機能強化事業

■九大、事業者等と連携し、空き家・未利用地等を活用した各種都市機能サービスの試験的導入を図り、事業可能性・導入効果等を検証し誘致を促進

4 交通体系強化

■九大、自治体、交通事業者等関係機関が一堂に会する会議の開催、交通サービスやパーソナルモビリティ利用環境の充実、実証事業の導入促進など



世界・アジアとの交流

1 留学生人材定着事業

■留学生の福岡・九州企業への就業機会創出、地元定着や企業のグローバル事業化推進に寄与する取組の実施

2 外国人研究者・留学生等の居住環境整備事業

■九大、自治体、留学生支援機関等関係機関が一堂に会する会議の開催、交流の場形成、生活サービス誘致、学研都市のグローバル化検討など

九州大学学術研究都市のシティプロモーション

1 WEB等を効果的に活用した情報発信の強化

■ホームページやSNSの活用、ニュースリリースの配信による学研都市の魅力配信など

2 地元経済界と九州大学との交流促進事業

■学研都市の研究プロジェクト・スタートアップ企業等の情報提供、九大・経済界の多様な交流を創出するイベントの開催

3 MICE推進事業

■MICE関係機関の誘致活動への参画、宿泊などMICE関連サービス機能を誘致

推進協議会の構成団体は、新たなフェーズにおけるめざす姿の実現に向けてそれぞれの役割を果たしていくとともに、各種プロジェクトへの参画、推進を支援していきます。

OPACKは、推進協議会の構成団体が実施する事業の円滑化を図るための調整機能を果たすとともに、各種プロジェクトの企画・実施・進捗管理など、学研都市構想及び事業方針を推進する中心的役割を担います。各種プロジェクトには多様なメンバーの参画を促します。

推進
体制

九州大学
学術研究都市
構想

九州大学学術研究都市推進協議会

- | | | |
|-------|-----------|------------------|
| ●九州大学 | ●佐賀県 | ●経済界 |
| ●福岡県 | ●唐津市 | ・九州経済連合会 |
| ●福岡市 | ●九州農政局 | ・福岡商工会議所 |
| ●糸島市 | ●九州運輸局 ほか | ・福岡経済同友会 |
| | | ・佐賀県商工会議所
連合会 |
| | | ・福岡銀行協会 ほか |

進出企業・地元企業・スタートアップ企業
関係機関・研究者・学生
その他多様な人材

OPACK

九州大学
学術研究都市
推進機構

概要

学研都市構想を推進するため2004年に設立された『公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構(OPACK)』は、九州大学、経済界、福岡県、福岡市、糸島市で構成された地元産学官連携の総合マネジメント組織です。

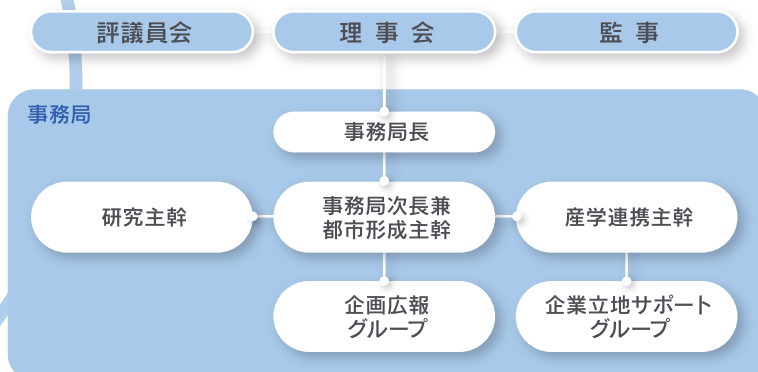
① 設立日

2004年10月1日

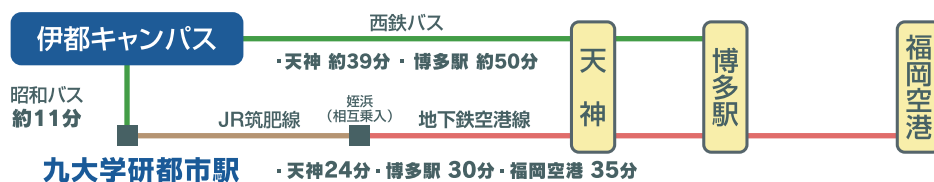
② 財団の概要

- (1) 基本財産
2億円
- (2) 理事長
貫 正義〔九州電力(株)相談役〕
- (3) 業務概要
 - ①学術研究に関する広報活動事業
 - ②産学官の共同研究による研究開発
及びその支援に関する事業
 - ③研究機関等の立地支援事業
 - ④産学連携交流支援事業

組織図



九州大学伊都キャンパスへの交通アクセス



福岡空港から

○地下鉄空港線「福岡空港」駅(姪浜・唐津方面)→姪浜からJR筑肥線(相互乗入)→「九大学研都市」駅→昭和バス「九州大学」行

博多駅から

○地下鉄空港線「博多」駅(姪浜・唐津方面)→姪浜からJR筑肥線(相互乗入)→「九大学研都市」駅→昭和バス「九州大学」行

○西鉄バス「博多駅A」停留所→直行[急行・九大伊都キャンパス行]

天神から

○地下鉄空港線「天神」駅(姪浜・唐津方面)→姪浜からJR筑肥線(相互乗入)→「九大学研都市」駅→昭和バス「九州大学」行

○西鉄バス「天神2B(ソラリアステージ)」および「天神北」停留所→直行[急行・九大伊都キャンパス行]



公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構

〒819-0367 福岡市西区西都一丁目1番27号 MJR九大学研都市駅前1F

TEL 092-805-3677 FAX 092-805-3678

E-mail: info@opack.jp